

ごじょうめ

- 九月定例町議会…………… 2.3
- ふれあい広場…………… 4
- カメラレポート…………… 5
- スポーツコーナー…………… 6
- お知らせコーナー…………… 7
- 野草のたのしみ…………… 8

町民憲章 元気で働き、活力に満ちた町をつくります



秋空の下、稲を刈る夫婦（久保にて）

（広報紙中にある写真を欲しい方）
おあげします

No. **573**

昭和**62**年（1987年）

10月 **1**日

（毎月1日・15日発行）

発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100代

印刷／五城目印刷 ☎ 0188 (52) 3531代

ふるさと歳時記

稲刈

春に植えた苗が、黄金色の穂を实らせ、重たそうに頭を垂れている。

農家にとって、田植えとはまた違った忙しさに追われる季節がやってきた。しかし、手塩にかけて育てた稲の収穫の喜びは何物にも代え難い。

早稲はすでに九月中旬に刈られているが、大部分の稲は十月に入ってからである。十月中旬は稲刈には絶好の晴れた日が続く。以前は、さわやかな鎌の音があちこちにひびいていたが、今は、コンバインのけたたましいエンジン音に変わってしまった。

刈った稲はたばねられて、稲架にかけて干しつらねられる。しかし、この情趣あふれる風景も、機械化とともにだんだんに見られなくなってきた。時代の移である。

9月定例会 町議

61年度水道事業会計決算

当年度
純利益 **五、〇四四万円余**

九月定例町議会は、九月十六日から二十六日までの十一日間の日程で開かれ、昭和六十二年一般会計補正予算案をはじめ、昭和六十一年度五城目町水道事業会計決算など十三議案を審議し、会議案を原案通り可決、認定同意しました。また、財団法人・五城目町開発公社の経営状況について報告を受けたほか、請願一件と陳情五件を採択、陳情四件を継続審査、陳情一件を不採択としました。

一般会計予算の総額

三九億五、三四三万一千円に

昭和六十二年一般会計予算の補正額は、歳入、歳出それぞれ一億三千六百四十五万一千円を追加し、予算の総額は、三十九億五千三百四十三万一千円となりました。

助金五五〇万円増額など
▽県支出金 一五〇万五千円増額
▽児童措置費負担金 二九六万八千円減額、老人福祉事務費委託金四四四万六千円増額など
▽財産収入 三九二四万四千円減額
▽土地売却収入など 繰越金 六一〇万円増額
▽前年度から繰り越し
▽諸収入 八四万七千円増額
▽老人福祉事業受託収入
▽町債 五〇九〇万円増額
▽町有林整備事業債一〇〇万円減額、道路橋りょう整備事業債七二〇万円増額、都市計画街路整備事業債一五九〇万円増額、公共土木施設災害復旧債二八八〇万円増額
▽歳入
▽総務費 三九万九千六百円増額
▽財産管理費（航空撮影

中央線改良事業負担金など）
二九四三万七千円増額など
▽教育費 七八六万二千円増額
▽事務局費（諸調査委託料など）二九万一千円増額、中学校管理費（工事請負費）二三五万円減額、社会教育総務費（館岡栗山絵画購入費など）六〇〇万七千円増額、保健体育費（世界ゲートボール大会出場補助金など）二万三千円増額
▽災害復旧費 八二八〇万三千円増額
▽災害復旧工事費 八〇九万七千円増額など
▽予備費 一四八万九千円増額

水道事業会計を補正

昭和六十二年水道事業会計の補正は次のとおりです。

▽事業費用 補正予定額二二万円増額（営業費用）
計 九一・一〇万円
▽資本的支出 補正予定額五

四四万一千円増額（建設改良費）
計 六九・九万四千円

固定資産評価審査委員会

委員に 佐川氏を選任



佐川 俊雄氏
(野田)

人権擁護委員会

石井氏を推薦



石井 良治氏
(富田)



故小熊議長の議員席に花が飾られる中、開会された9月定例議会

一般質問要旨

今定例会の一般質問は、六議員から、それぞれ次の要旨で出されました。これに対する町の答弁内容については、次回の議会だよりに掲載される予定です。

笹川兼吉氏

一、行政関係―助役の二名制について 他七件

二、財政関係―六十二年度中の財源について 他三件

三、産業関係―水田農業確立対策について 他二件

四、商工観光関係―商工会の業務について 他一件

五、建設関係―道路整備と管理について 他二件

六、環境衛生関係―生活廃棄物と汚水処理対策について 他二件

七、社会福祉関係―老人（実年者）の労働力活用について 他一件

小玉哲郎氏

一、人口流出の歯止対策の問題と提言

(1) 企業誘致の現況とその後への対応はいかに

(2) 企業誘致敷地の確保と対応はいかに

(3) 誘致企業の現況と見通しは

他四件

二、町職員の規律とモラルの向上について

伊藤長一郎氏

一、福祉の拡充について

〇患者介護者の登録、派遣状況等

二、森山森林公園について

・林道町山線の整備等

三、路線バス運行について

・内川線広ヶ野台経由に伴う道路整備等

松橋 勇氏

一、電源地域産業育成事業について

(1) 進展状況

二、学校教育における国際理解と国際交流について

(1) 英語指導に外人教師を

三、建設労働者対策について

(1) 秋枯れ・冬枯れ対策

(2) 建退共加入の実態と指名業者の加入状況

四、工事費の積算基準公表に

四、農業の減反・転作によ

ついで

佐々木吉三郎氏

一、高速道路交通体形に伴い将来五城目の位置はどうあるべきか

(1) 高速道あるいはインターチェンジの本町通過は有望視されているかどうか

二、わが町の後継者嫁入対策について

三、本町の発展計画実施の成果について

(1) 町長の任期半期にて計画の手直しの必要はないか

他一件

五、消防のテレホンサービス実施について

三、在宅寝たきり老人へ「紙おむつ」の支給を

四、小・中学校空き教室の再

生法

二、行政財産（上田町町内会の用悪水路）の管理と活用について

三、在宅寝たきり老人へ「紙おむつ」の支給を

四、小・中学校空き教室の再

生法

三、在宅寝たきり老人へ「紙おむつ」の支給を

四、小・中学校空き教室の再

生法

三、在宅寝たきり老人へ「紙おむつ」の支給を

四、小・中学校空き教室の再

生法

三、在宅寝たきり老人へ「紙おむつ」の支給を

四、小・中学校空き教室の再

生法

小熊議長逝く

町議会議長小熊金之助氏が去る九月十四日午後九時二十三分、肺がんのため入院先の秋田赤十字病院で亡くなりました。六十三歳でした。

二日後に九月定例町議会を控えての急逝だっただけに、ご家族や町民、議会関係者の驚きと悲しみは計り知れません。

葬儀は、町議会葬として二十一日午前十一時から、広域体育館第二体育室で、遺族や来賓、一般会葬者約三百名が参列し、しめやかに挙行されました。

読経の後、葬儀委員長の佐々木町議会議長が葬送のことばを述べ、続いて故人と縁の深かった加賀谷町長はじめ南秋田郡議会議長会会長齋藤真人氏、友人らが弔辞を述べられました。その後、読経の流れの中、参列者全員が焼香をし、故人との最後の別れを惜しましました。



9月21日広域体育館で行われた故小熊議長議会葬

千代田区との都市交流に向けて

15 完

都市と農山村の交流は、都市の人々にとっては、農山村の恵まれた自然環境の中で、おいしいのある生活を体験できる新鮮な地場産物・特産物を手に入れることができるなどのメリットがあり、農山村においても地域社会の活力がとなく失われがちな中で、緑資源の活用等によって農家の就業機会の確保、増大と農家経済の安定、文化活動の振興等を図り活力ある農山村社会を形成できる大きなメリットがあります。

また異なる風土や生活習慣を理解することは、自らを見直し、交流を通じて自分たちの住むまちを更に住み良いものにするための目を養うことができます。

町が推進している都市交流事業は、主に次のような経緯で進められています。

昭和61年5月31日

千代田区長と町長がトップ会談。

昭和61年8月29日、30日

千代田区総務課石川係長、宮田主査が来町し、町内を視察する。

昭和61年10月6日

杉沢小学校より千代田区神田小学校へイガ栗三百個、栗10キログラムを送る。

昭和61年10月18日

五城目町都市交流推進委員会設立。

昭和61年10月27日

千代田区神田小学校より杉沢小学校へ栗を主題にした作文が送られて来た。

昭和61年11月22日

五城目森林組合より佐竹稲荷神社へ秋田杉献木と記念碑を建立する。

昭和62年4月22日、23日

千代田区総務課横田課長、山岸主査が来町し、町内を視察する。

昭和62年5月10日

神田旭町会から神田祭に招待をうけ町長、佐々木副議長らが参席。

昭和62年6月17日

千代田区長から千代田区四番町民俗資料館に展示している江戸水道木樋（文化庁登録）を本町に寄贈された。

昭和62年7月24日、25日

神田旭町会長ほか旭町会役員4名が本町を訪問。

昭和62年7月25日

神田旭町会と五城目町町内会長が役場正庁において姉妹提携調印式を行った。

このように交流事業はだんだんと深まって来ており、現在、千代田区においては「市民交流等に関する基本方針」策定検討会を設置して市民交流、都市交流のあり方を調査研究して推進を図っております。

本町においても来年度をめどに具体的な事業計画を作成しながら町民の期待に答えるべく努力しています。

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

昭和62年10月27日

ふれあい広場

あらはの
自慢っこ

下山内町内会

大石 和子

私達の住んでいる下山内は総戸数六十五戸あります。その内五十一戸が農家となっております。町内には、八組の隣組みがあって、組長は毎月交替で行っております。町内での運動会や盆踊り大会、それにカラオケ大会なども、

この組単位で対抗するわけです。わが町内には、誇り得る伝統芸能山内番楽があります。山内城の関係からか、昔から番楽は盛んであったと古来から伺っております。先の大戦と敗戦のショックで人々の心がすさみ、希望も見失いがちな若者たちを対象に、畠山鶴松さんとその仲間達は、番楽の後継者育成に努めました。そのかいがあって今でも連綿たる伝統となっております。町内の年中行事に、森山早朝登山があります。日時は決まっており、毎年八月十四日午前四時頂上に向ってスタートいたします。よ

ほどの悪天候でない限り実行します。早朝登山を始め、森山の頂上にマイクローエーブが完成してからは間もなく記憶しておりますので、二十年近くになろうかと思えます。参加者は、学校に入学する前の子どもから制限なしです。曙光を仰ぐことはめったにできないわけですが、頂上をきわめたそう快な気分はたとえようもありません。町内を流れている富津内川のたもとに、下山内集会所が建ててあります。この集会所は、林業構造改善事業で取りあげていただいたものですが、少しでもよい集会所をということで、

敷地を提供していただいたり納税組合への助成金を蓄え、各家々からの拠出金を毎月積立てるなどして、ようやく完成した思い出は今でも忘れることはできません。やはり全戸のチームワークがなければできないことだと思えます。いろいろな行事や町内の事業をやる毎に会長を始め、役員のみなさんは本当に難儀をするわけですが、町内に住む人々の心の和やかさ、ふれ合いがなければできないことばかりです。下山内に住む者の一人として、こうした人々の心の流れと結びつきを大切にしていきたいものと思っております。

グループ訪問

和光会

(会長 伊藤 一郎さん)

この会は、昭和二十二年、戦後の人々のすさんだ心に潤いを与えようと、馬場目町村の伊藤一郎先生が創設しました。

当初は書道、写真、絵画の三部門、十五人で活動を開始。現在は、会員十四人で、日本画、版画、油絵、水彩画の四部門にわたっています。毎月最終土曜日に開かれる定例会では、互いに作品を持ち寄り合評会を行うな

ど、研さんを深めています。年間の活動は、和光会展、男鹿南秋美術作家展、産業文化祭写生会などですが、五城目信用金庫の一室を借りて始めた和光会展は、現在県立美術館に会場を移し、来年で五十回展を迎えます。町の一絵画グループが中央で長年にわたり展覧会を開催している例は、県内では他にみられないとのこと。会員の皆さんは、「文化の香りの高い五城目町に、展覧会を開ける施設がないのはたいへん残念なこと。美術館単独だけでなく、図書館や博物館などが併設された文化会館の施設がほしいものです。」と語ってくださいました。



毎月開かれる定例会では熱心に意見が交わされる

表彰

五一中PTA

東北PTA会長賞を受賞

宮城県古川市を会場に、九月十八日・十九日の二日間開催された「第十九回東北PTA研究大会」において、五城目第一中学校PTA（会長・加藤政光さん）は、「東北PTA協議会長賞」を受賞しました。

五一中PTAは、近年、部組織を整備し、各部とも活発な活動を展開しています。今回は特に、校外生活指導部を中核としての地域巡視、地域PTAの開催等を行い、生徒の健全育成に寄与した功績や、会報「いそのめ」の発行により、会員の研修、情報交換に努めたことなどが認められたものです。



表彰状を手に加藤PTA会長

入通線通行止め解除のお知らせ

町道入通線は、道路改良工事のため四月二十五日から通り抜けできませんでしたが、今年度分工事が終了し、十月一日より通行可能となります。なお、工事箇所は路盤幅員が三メートルと狭いので、通行時には十分注意してください。

4人がメダル獲得

—— 県身障者体育大会 ——

第25回県身体障害者体育大会が、9月6日、秋田市八橋陸上競技場で開かれ、本町から11人が参加し、4人の方がメダルを獲得しました。

この大会は、「完全参加と平等」を合言葉に、身障者がスポーツを通じて体を鍛え、失われた機能の回復を図るとともに、積極的に社会参加する勇気と自信を養おうと毎年開かれているもの。大会には、約3,000人が参加。競技はトラック10種目、フィールド7種目の計17種目で、それぞれの障害の程度に分かれ、練習の成果を競いました。

本町関係のメダル獲得者は、次のとおりです。(敬称略)

- ・金メダル
伊藤光也(町村) ソフトボール投げ、佐藤ユキ(平ノ下) 百M走
- ・銀メダル
石井英悦(寺庭) 立幅跳、今村キエ(畑町) 砲丸投げ

カメラレポート



みごと金、銀メダルを獲得した皆さん

町内会をあげて祝う

—— 町道水沢線開通 ——

路幅が狭く急カーブの多かった町道水沢線の改良舗装工事が、昭和59年度に着手以来、この程ようやく完成しました。

この路線は、県道秋田・八郎潟線から入って同線を通り抜けることの出来る延長608m、幅員5～6mのりっぱな舗装道路です。

水沢町内会では、去る9月13日、工事関係者及び町内会員総参加のもとテープカットをして開通を祝い、防火貯水槽及び消防消舎の竣工と合わせて祝賀会を催し、喜びをわかちあいました。



関係者がテープカット

明るい地域社会づくりに努力

—— 五城目町老人福祉大会 ——

五城目町老人福祉大会が、9月24日、午前10時から広域体育館で、町内の60歳以上のお年寄り約450人が参加して行われました。

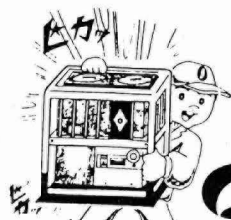
大会では、会長のあいさつ、来賓のお祝いの言葉などの後、秋田経済法科大学の井上教授が「秋田の歌を歌い継ごう」と題して講演を行い、最後に、五城目地区代表の伊藤一実さん(昭辰町)が「明るい地域社会づくりの一役を担うよう努力する」ことなどを誓った宣言文を朗読しました。また席上、伊藤マツノさん(脇村)と小野フミさん(浦横町)が、ねたきり老人に対する優良看護人として表彰されました。

大会閉会后、午後から秋田市の五星会と若美町のカラオケ同好会によるアトラクションが行われました。



宣言文を朗読する伊藤一実さん

どんなストーブでも修理します!!



- 反射ストーブのしん交換
- 分解整備
- 取付・点検

☎ 52-9497



信賴の炎を燃やして
ガス 五城目 燃料

実行しましょう。月にいちど、
「積み立ての日」

しんきんの定期積金

まごころかよう



五城目信用金庫



本 店 ☎ 52 2115 代 ・ 八郎潟支店 ☎ 75 2544 代 ・ 若美支店 ☎ 0185 46 2315 代 ・ 飯島支店 ☎ 45 8024 代



五小チームが優勝 町内小学校相撲大会

町内のチビッコ力士たちが集まっての町内小学校相撲大会が、九月十二日、雀館運動公園相撲場で開かれました。選手の方々は、先生や友達の声援をうけ、日頃の練習成果を競い合いました。成績は次のとおりです。

(敬称略)

(団体戦)

- 優勝 五城目小学校チーム
- 二位 馬場目小学校Aチーム
- 三位 大川小学校チーム
- (個人戦)
- 優勝 佐藤公一(五小)



谷山浩子さんが コンサート

11月15日町民センターで「谷山浩子」が、この指止まれの主催で行われます。これは、私達の町で生の

- 二位 小玉学(馬小)
- 三位 清水清吾(五小)
- 四位 原田智和(馬小)
- (新人戦)(四年生以下)
- 優勝 工藤聡(五小)
- 二位 畑沢聖(五小)
- 三位 武田雅也(五小)
- 四位 館岡徳行(五小)
- (特別賞)
- 殊勲賞 沢田石竜人(内小)
- 敢闘賞 畑沢享(大小)
- 技能賞 小玉圭(馬小)

下樋口チームが優勝 町内対抗ゲートボール

町内対抗ゲートボール大会が、九月十三日、雀館運動公園広場で三十チームが参加して行われました。結果は次のとおりです。

- 優勝 下樋口
- 準優勝 岩野
- 三位 田町
- 四位 湯ノ又
- ※決勝トーナメント進出チーム
- 畑町、富田、落合、町村、八田、下山内、浅見内、野田

コンサートを聴きたいという希望が実現したものの。谷山浩子さんは、現在、NHKみんなのうたなどで活躍中です。▽日時 十一月十五日(日)午後二時半開場、三時開演▽場所 町民センター▽入場料 前売2500円 当日2800円▽問い合わせ先 斎藤(電話)52-9265、夜52-4273

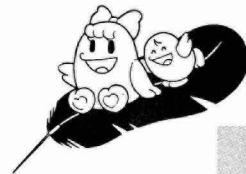
体育 スポーツ大会 10日はプールが無料開放

体育の日スポーツ大会が、十月四日、十日、十一日、雀館運動公園の各施設を会場に開かれます。

また、「体育の日」の十月十日は、温水プールが無料開放されます。開放時間は、午前十時から午後四時半まで。スポーツ大会の種目は八種目。競技開始は、四日と十一日が午前九時、十日は午前九時半となっています。

わかちあう幸せ 共同募金運動

10月1日～12月31日



「赤い羽根」で親しまれている国民助成金の共同募金が、今年も十月一日から全国一斉に行われます。赤い羽根共同募金は、みなさんの幸せを困っている人たちにわかれあって、今年で四十周年を迎えました。赤い羽根は、寝たきりやひとり暮らしのお年寄り、手足の不自由な人など、あたたかい思いやりを必要としている人々へ、皆さんからの善意を集めて届けます。それが赤い羽根共同募金運動です。

昨年は町内の皆さんのご協

献血ありがとうございます



献血車による献血が、九月二十一日、町内四カ所で行われました。この献血に協力してくださいました方々のお名前は次のとおりです。(敬称略、太字は四〇〇ミリリットル献血者、数字は献血回数)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----------|---------|---------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|----------|---------|------------|-----------|----------|----------|---------|---------|----------|---------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|---------|---------|---------|----------|-----------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|--------|---------|----------|----------|----------|--------|---------|----------|---------|---------|---------|-----------|----------|----------|
| 伊藤 宗俊 8 | 小畑 武博 30 | 近野 輝雄 9 | 石井 勇 28 | 渡部 ミキ子 9 | 千田 賢悦 16 | 伊藤 一志 40 | 八柳 鉄男 60 | 波辺 繁 25 | 加藤 繁 25 | 伊藤 久美子 1 | 永井 慶子 2 | 佐々木 久米雄 29 | 千葉 千代美 31 | 大石 定祐 20 | 小玉 哲男 14 | 佐川 俊雄 8 | 館岡 弘 12 | 富山 政憲 16 | 児玉 昇 32 | 千葉 貞光 23 | 谷田部 保美 41 | 北嶋 美保子 21 | 朝野 暢稔 24 | 長谷川 国夫 23 | 児玉 泰 30 | 畑沢 房男 8 | 千田 博幸 3 | 石井 政則 28 | 北嶋 正千代 36 | 伊藤 敏和 4 | 小玉 澄子 2 | 猿田 仁 24 | 児玉 英一 29 | 八柳 博 21 | 水野 睦哉 6 | 加藤 真光 2 | 嶋崎 一人 7 | 石川 光彦 6 | 猿田 俊彦 22 | 館岡 敦 34 | 斎藤 淳 1 | 畑沢 竜子 9 | 石井 ハルエ 6 | 伊藤 秀夫 26 | 大石 正広 27 | 加藤 厚 5 | 田仲 寿 27 | 石井 久雄 33 | 一関 久蔵 5 | 金野 一 11 | 三浦 正 12 | 館岡 与二郎 52 | 工藤 幸男 10 | 伊藤 彦磨 27 |
|---------|----------|---------|---------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|----------|---------|------------|-----------|----------|----------|---------|---------|----------|---------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|---------|---------|---------|----------|-----------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|--------|---------|----------|----------|----------|--------|---------|----------|---------|---------|---------|-----------|----------|----------|

1987
〔秋一番〕
ワイン祭り開催中
Liquor & Foods
CVS あらかわ
畑町 TEL 52-3903

くつろぎのひとときに...
梅ごろも
栗ごろも
五城目音頭
五城目最中
もり山
クリームどらやき
シューあんびん
お菓子の **しばた**
五城目町古川町 電話 52-3238

靴・傘・カバン・シート
革製品の修理は当店へ...
太鼓の修理、張替、新調はお早目に!
山菜リュック・山用品各種製造
工藤 カバン店
五城目町東磯ノ目(中央通り)
TEL 52-3343

お知らせコーナー

参加者を募集

馬場目岳清掃登山

町では、馬場目岳清掃登山の参加者を募集しています。参加希望者は、十月六日（火）までに役場商工観光課（電話5212100）へ申し込んでください。

▽日時 十月八日（木）午前八時役場前出発（小雨決行）

▽参加費 千円（バス代）

▽募集人員 先着四十人

▽日程 役場（午前八時発）

銀の沢登山口→山頂（午前十一時半着）→銀の沢登山口→役場（午後四時半着）

一般の方も鑑賞を

五城目町学校音楽祭

第四回五城目町学校音楽祭が、十月十三日（火）午後一時半から広域体育館で、町内の小学校五、六年生と中学生が参加して行われます。

この音楽祭は、全町児童生徒がつどい、一緒に歌ったり優れた音楽を鑑賞したりして、音楽を愛好する心と、はつらつとした人間性を育成するため毎年行っているもの。今回は、秋田県青少年劇場の鑑賞を主体に行います。一般の方も鑑賞できます。

行政相談所を開設

10月15日に商工会館で

十月十一日から十七日まで、行政相談週間です。行政相談委員が、皆さんの行政に対する不満や要望を聞き、秋田行政監察事務所と協力してその解決を図ってくれます。町の行政相談委員は、長谷川豊さん（一番町電話5212238）です。

行政相談週間中、次の日程で相談所を開設します。

▽日時 十月十五日（木）午前十時～午後三時

▽場所 五城目町商工会館

危険物取扱者試験に伴う講習会開催について

昭和六十二年第二回目の危険物取扱者試験は、昭和六十三年一月九日（土）の予定です。これに伴う講習会が次の内容で開催されます。

▽講習日および講習の種類

・十一月十日（木）～十三日（金）

乙種四類

・十二月二日（水）～三日（木）

丙種

▽講習会場

秋田市山王七丁目三一

秋田市文化会館

▽受講手続

十月十一日から十三日まで

秋田県消防防災課内秋田県

危険物安全協会へ申請書を提出してください。受講申請書は、消防署にあります。

※詳しい事は消防署（電話5212028）にお問い合わせください。

大川地区文化祭を開催

10月24日から26日まで

大川地区公民館と同地区コミュニティ委員会では、大川地区文化祭を開催します。参加は無料、どなたでも参加できます。文化祭の内容は次のとおりです。

▽展示部門

▽場所・期日 改善センター

十月二十四日（土）～二十六日（月）

▽展示物 絵画、写真、俳句、盆栽、書道、料理など

▽発表部門

▽場所・日時 大川小体育館

十月二十五日（日）午前十時半～午後三時

▽内容 ゆうぎ、民謡、創作劇、踊り、歌、詩吟など
※昼食時に、婦人会の協力による汁を準備しますの
で、参加者は昼食と汁わんを持参してください。

▽ビデオ部門

▽場所 改善センター

▽日時 十月二十六日（月）

午前十時～十一時半、午後一時半～三時

▽内容 町広報ビデオ四巻を
映写

▽慈善バザー

▽場所・日時 改善センター

十月二十四日（土）午前十時～午後三時

▽内容 各家庭で眠っている物品の販売
その他、詳しい内容を知りたい方は、農村環境改善セン

稲わら焼却をやめよう

十月一日から十一月十日までは、稲わらなどを屋外で焼却することが禁止されています。県では期間中、気象台、県警察本部、保健所などと連絡をとりながら、必要に応じてスモッグ注意報を発令して、住民に注意をうながすことにしています。

また、パトロール車による

美しさの再発見

五城目町の美 10選を募集

町では、「五城目町の自然美、人工美、暮らしの美」の各部門の写真を集めています。これは、町の活性化、愛郷心などの醸成に役立てるために募集するもの。

各部門の入選十名、佳作五名は、広報などで発表し、記念品を贈呈します。

▽募集する写真の部門

・自然美：四季のおりなす豊かな自然の美しい景観（山川など）

・人工美：環境に調和した造形物の美（建物、道路など）

・暮らしの美：暮らしの中にみえる人情味ある情景。歴史伝統のある生活様式にみる情景（朝市、行事など）

▽応募方法 各部門の写真と撮影月日、場所、簡単な説明文を加え、住所、氏名、性別、職業、電話番号を記入の上応募してください。

▽募集期間 昭和六十三年

三月十日まで

▽送り先 五城目町上樋口字向川原

1212 役場企画調整課

テレホン広報 ごじょうめのご案内

	月	火	水	木	金	土	日
9/28 ～10/4	今週のお知らせ	九月例会 議 会 だより		みんなの広場 (学校紹介 富津内小学校)			
5 ～ 11	今週のお知らせ	町の観光案内 食欲の秋！ 五城目名物ダマコモチ		みんなの広場 (学校紹介 杉沢小学校)			
12 ～ 18	今週のお知らせ	暮らしのアドバイス 秋の空気を汚さないで！		みんなの広場 (学校紹介 杉沢小学校)			

テレホン広報ごじょうめ
5214141



善意銀行
預託者
(敬称略)

・九月四日
七千三百三十五円

大川青年会
(大川村つこフェスティバル、87における収益金の一部と大川連合盆踊り大会時における寄付金の一部を寄付したもの)

野草のたのしみ

13

ダイヤモンドソウ

松浦修作
(小池町)

秋に咲く花でよく目につくものにアキノキリンソウ、キキョウ、ウメバチソウなどがあるが、山地でのダイヤモンドソウは、なかなか味わい深いものがある。

全山錦織りなす華やかな季節でも、谷沿いの樹林下はほの暗い。溪流のしぶきをあびている岩肌に、野趣豊かに咲くダイヤモンドソウの白い花は、静寂な秋の風景にふさわしい。華やかな花を色彩画にたとえるならば、この花はおちついた墨絵の世界であり、一抹の寂しささえ感じられる。低山からかなり高い山地まで、湿気のある岩や石の上など、普通にみられる多年草で葉は地際に展開し浅く切れている。九月から十月にかけて咲く花は、花径一センチほどで、大の字の形の花を多数つける。丈夫な草で栽培は容易であるが、真夏の強い陽光で葉がやれることがあるので、この点だけ注意すれば捨て作りで結構育ち、自然に種子がとんで柵の下や、ほかの鉢で繁殖して始末に困るほどである。近似種にウラボシダイモンソウ、ベニバナダイモンソウなどたくさん種類があるが、栽培のむずかしいものもある。

この葉が食用になることを最近知人より聞いた。葉の裏側だけに衣をつけて揚げると、鮮やかな緑色が楽しめる。ひたし、あえものにも良いといっていたが、食味のほうは聞きもらした。更に乾燥して煎じて飲めば腎臓の薬にもなるという。



訂正とおわび(文書広報課)
九月十五日付広報の「野草のたのしみ⑬ヒナチドリ」の中で字句に間違いがありました。読者並びに執筆者にはたいへんご迷惑をおかけしました。深くおわび申し上げます。訂正させていただきます。
(誤)寄生 → (正)着生

おたんじょう
おめでとうございます



小松 和夏子 ちゃん
(62.8.5生)
正孝・睦子さん長女/館町

〈おかあさんの一言〉
心身ともに健康で、
さわやかな感じの女の子になってほしい

おめでとう
申し上げます

(敬称略)

沢田石茂夫	47歳	8月8日	湯ノ又三区	伊藤真一郎	81歳	8月22日	合地
小玉トキ	60歳	8月12日	田町	館岡サキ	80歳	8月24日	八田
松橋三郎	54歳	8月14日	浅見内二区	伊藤慶蔵	71歳	8月29日	下高崎
椎名秋一郎	91歳	8月16日	富田	栗山ナツ	92歳	8月30日	畑町
金澤キエ	85歳	8月18日					



町の人口と世帯

9月1日現在

人口	15,222人(-5)
(男)	7,249人(-2)
(女)	7,973人(-3)
世帯	3,930世帯(+1)
※ ()内は前月との比較	

小松和夏子	長女	8月5日	館町
鳥井沙織	長女	8月7日	上樋口下
浩己・千賀子	二女	8月10日	御蔵町
三浦もと子	二女	8月11日	中川原
玄・千鶴子	二女	8月12日	大川二区
浅野 剣	二男	8月14日	曙町
春美・登代子	長男	8月16日	大川一区
原田和貴	長男	8月17日	岡本一区
聡・滝子	長男	8月18日	小川口
昭道・久美子	長女	8月24日	築地町
島崎拓也	長男	8月31日	野田
喜道・美智子	二女		
松田真由子	二女		
清悦・須真子	二男		
小沼雄太	二男		
一之・ふさ子	長女		
藤井瑠菜	長女		
寿・友子	長女		

(敬称略)